

---

福岡医療団・労組 学習会



# 学ぶことと活動

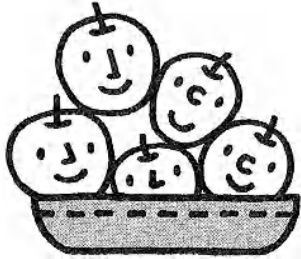
～そもそもを磨きなおす～

---

2010年9月22日

岡山県労働者学習協会 長久啓太

ブログ「勉客商売」



## 本日の学習会のポイント…

- ①なぜ、哲学や社会科学を学ぶのか
- ②「活動」におけるサイエンスとアート

そもそもの、  
磨きなおし☆

あくまで今後の討論材料として。

はじめに 「ものさし」の大切さ

『新訂 看護観察と判断』より  
(川島みどり、看護の科学社)

どのような  
〇〇観をもつかは、  
実践を左右する。

- 仕事観
- 看護観
- 人間観
- 生命観
- 子ども観

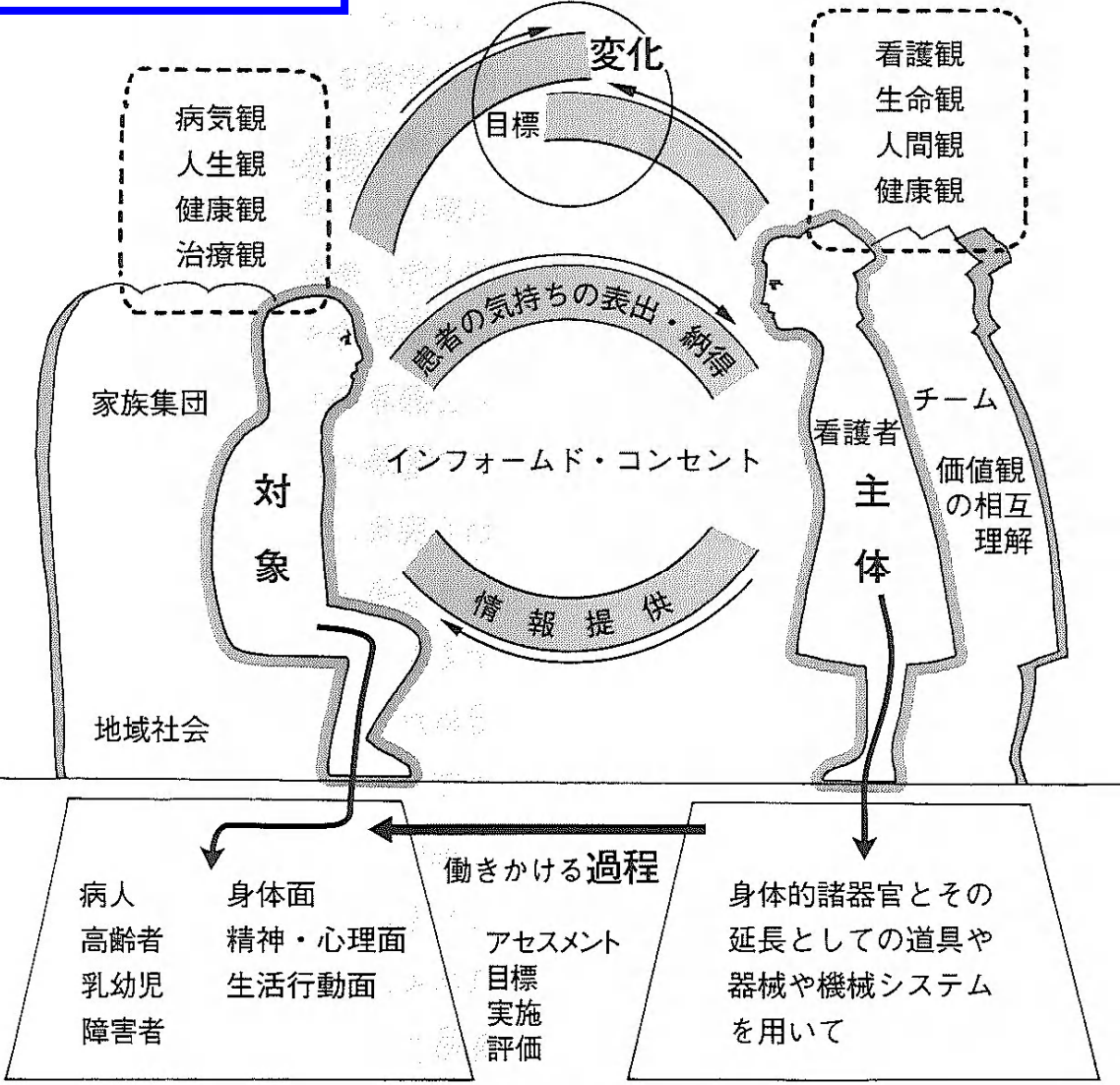
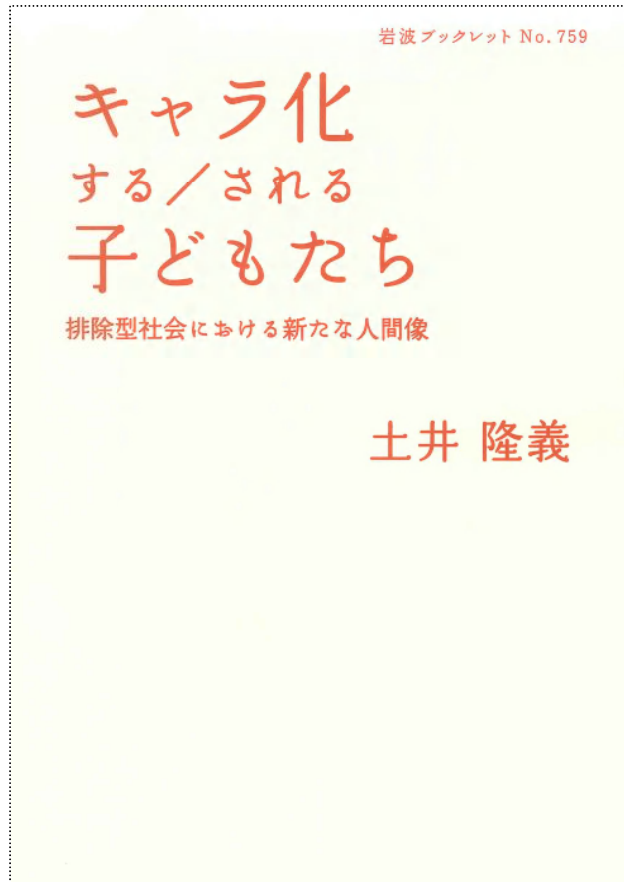


図1 看護実践の構造

## 昨年読んだ本のなかから…



『キャラ化する／される 子どもたち』  
(岩波ブックレット、土井隆義、2009年)

個性や人格を「キャラ」としてとらえる子どもたち。

「キャラ」の枠にはめる。  
人間関係の固定化。

「キャラクター」の特徴のひとつは、「成長しない」「大きな変化がない」ということ（異論があるかもしれませんが）。

「人間観」が  
問題になってくる。

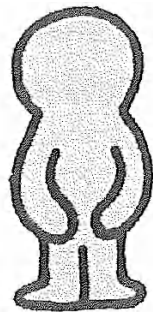


ここで質問です。

あなたの社会観は、どのようなものですか？

あなたの政治観は、どのようなものですか？

看護のことはまあわかるけど、  
社会のことはよくわからんなー。



向こうをむいている人

対象

対象にたいする認識が豊かかどうかで、  
〇〇観（ものさし）も変わってくる。

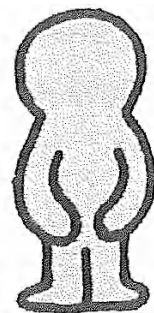
認識は、学びと実践で深まっていく。  
認識が深まれば、ものさしが磨かれる。

# (1) 世界観（哲学）とは？

だれでも、なんらかの「ものさし」をもっている。しかし…  
(あくまで単純化している例です)

患者さんは、日々変化している。だから、小さな変化にも気づくことが大事。気づきのアンテナの感度をよくしなきゃ☆

変わる。



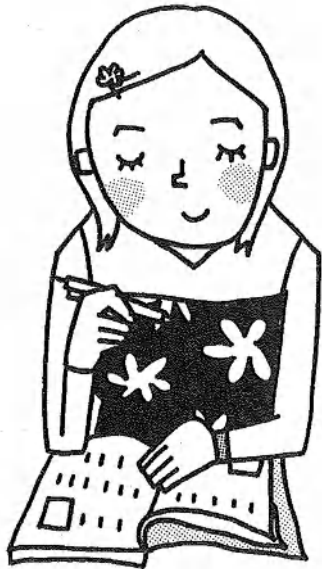
政治も社会も、どうせ変わらないよなあ。やっぱり日本人はダメだなー。いつになったら世の中よくなるんだろう…。

変わらない。

「ものの見方・考え方」が首尾一貫していない…！

# 世界観とは。

自然や人間（自分をふくむ）、社会に対する、  
「ものの見方・考え方」のこと。



そして、必要なことは、科学的で、  
首尾一貫した世界観。

幸い、自然や人間、社会に対する  
体系的で科学的な世界観の基本を、  
人類はすでに獲得し、積み上げて  
きています。あとは、それを私た  
ちが学ぶかどうかです。



科学的で、首尾一貫した世界観の、  
基本は何か。

自然も人間も社会も、それを見るときは、

- ① 事実から出発すること。
- ② 変化とつながりのなか  
で見ること。



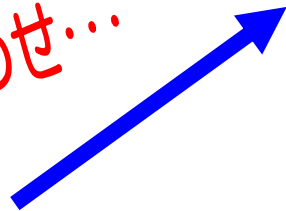
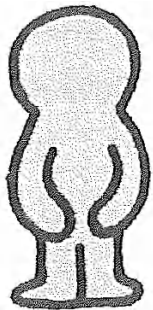
「なんだ、簡単そう」  
と思えるけど…。

## ①事実から出発する

ものごとを「とらえる」ということは、なかなか難しい。

科学の力が必要。

どうせ... どうせ...



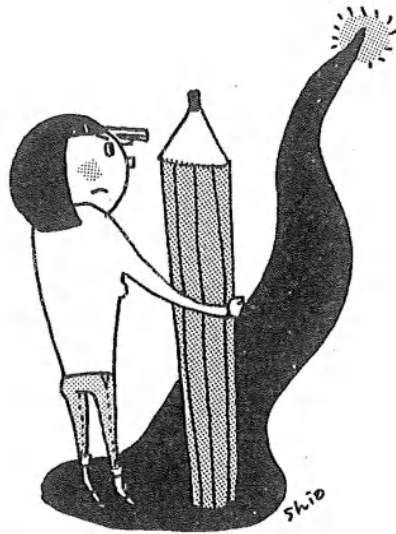
現象

本質

対象 法則

「先入観」「決めつけ」という便利なメガネが、対象をとらえることをジャマする。

あるいは、「経験・体験」の絶対化。

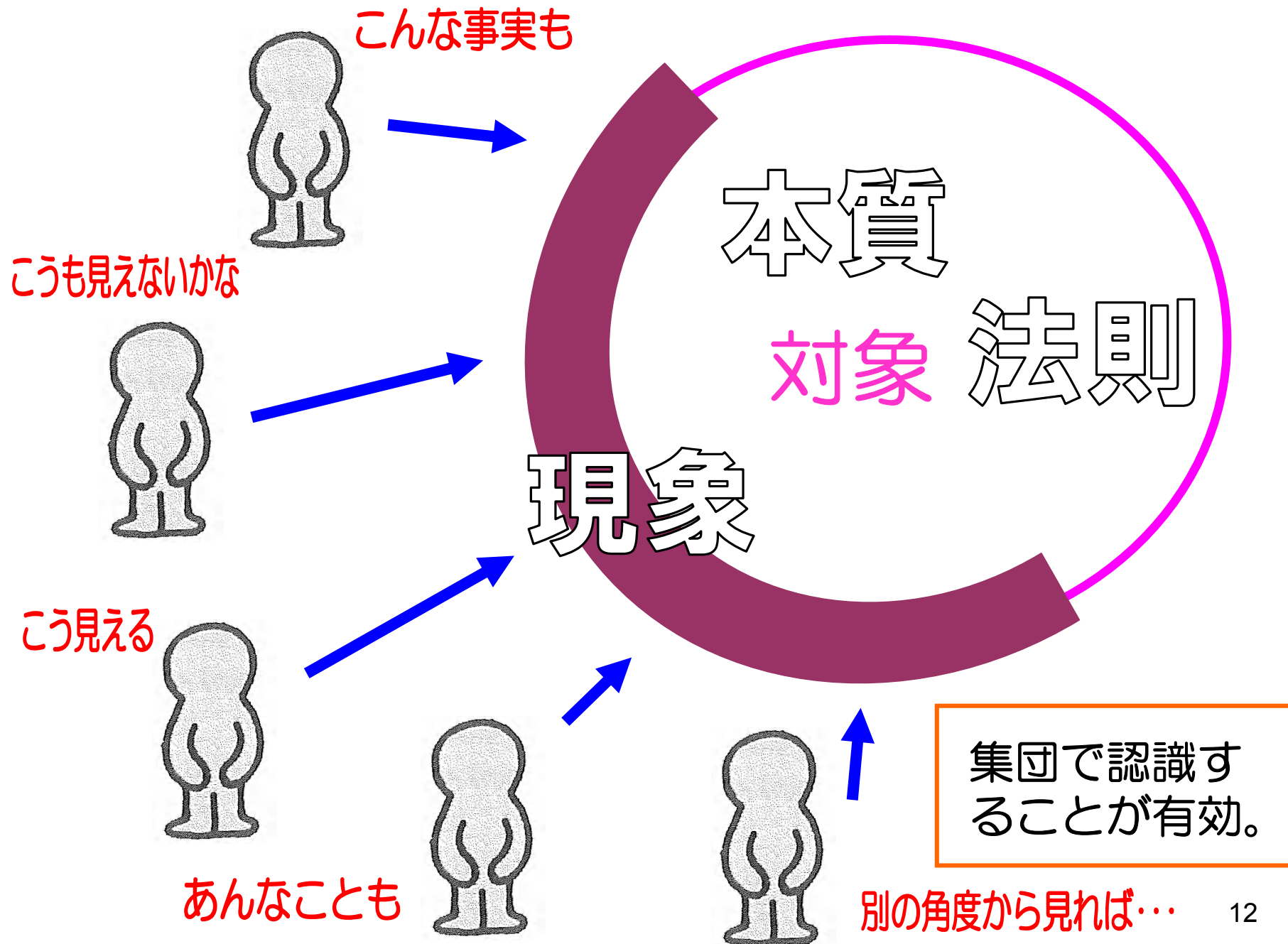


ものごとの本質や、法則性をとらえるには、科学の力が必要だけど・・・。

科学的な態度というのは、

**めんどろくさい。**

- 1) 自分（たち）の頭で考えることが必要。
- 2) 「なぜ？」「どうして？」…時間と労力が必要。





集団での討議や学習は、  
認識が高まりあう場。

(本や雑誌論文から学ぶことも、とっても大事)

## ②変化とつながりのなかで見る

人の「健康」ということも、さまざまな「**つながり**」のなかで「存在」し、**日々変化**している。



図1 内部環境と外部環境



対象となるものを、

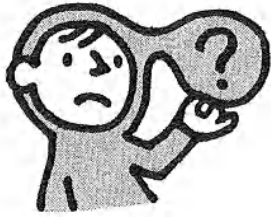
「運動」「変化」「発展」のなかでとらえる。



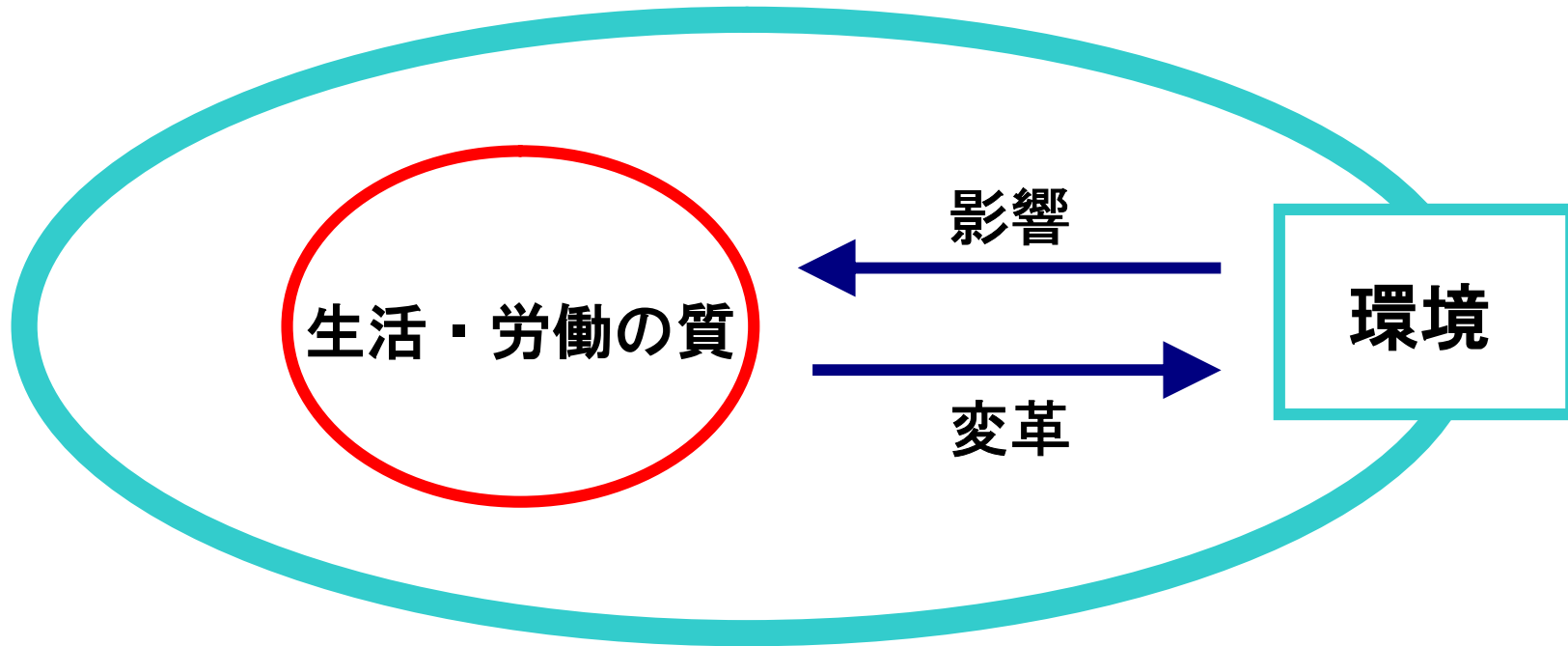
矛盾が発展の原動力。  
量的変化と質的变化。  
肯定をふくんだ否定。など…。  
運動・変化にも法則性がある！

対象となるものを、

「つながり（連関）」のなかでとらえる。



たとえば、私たちの生活・労働の質と、環境とのつながり。



◇人間は、環境から影響を受ける。

◇人間は、環境を整え、変えることができる。



どんな環境のもとで、働いているのか？



どんな病院・施設で？

（建物、空間、設備、地域性）

どんな人数・集団の中で？

（何人の職員で、年齢層、人間関係）

どんな理念・目的のなかで？

（病院・施設の理念や文化、時々の方針）

どんな労働条件で？

（賃金、労働時間、休憩、休日、  
雇用形態、諸権利）

政治・社会環境

（国の医療・社会保障政策、  
法律、国民の状態）

影響

私たちは、**ひとり**で環境を変えられるか？

賃金上げてほしい！

休みをとらせて！

医療・福祉の充実を！

職場の人員を増やして！

軍事費けずって  
社会保障に！



ひとりでは・・・

**無理です。**

集団の力で、環境を整えたり、変えていく。

どんな病院・施設で？

(建物、空間、設備、地域性)

どんな人数・集団の中で？

(何人の職員で、年齢層、人間関係)

どんな理念・目的のなかで？

(病院・施設の理念や文化、時々の方針)

どんな労働条件で？

(賃金、労働時間、休憩、  
休日、雇用形態、諸権利)

政治・社会環境

(国の医療・社会保障政策、法律、国民の状態)

変革



変革

## なぜ世界観（哲学）の学習が必要かーまとめ。

### 生きた現実を読み解く。



◇一筋縄ではいかないのが現実（矛盾をもつ）のはずなのに…。固定的に見てしまう傾向。

◇先入観で見る。否定的側面のみしか見えないと  
・・・「どうせ」

◇本質をつかみとる。

◇法則を知り、法則にそって現実働きかける。

## よりよい実践のため。

## (2) 社会科学を学べば、みえてくる!

深く関わってこる。



「どう生きるのか」

と

「どんな社会で生きているのか」

\*大河ドラマ「龍馬伝」—身分制度への挑戦

\*日本の戦争の時代—「どう死ぬか」「銃後を守る」「命がけの反対」

その時代の課題と向き合って生きる。

なぜか・・・それが人間だから。

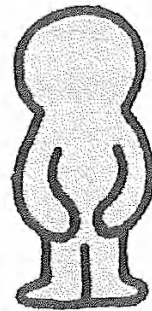
私たちが生きていく「時代」は、  
どんな社会になるのか（していくのか）。

（たとえば、長久の場合）

どんな日本・世界にしていきたいのか  
（21世紀はどんな時代になるのか）

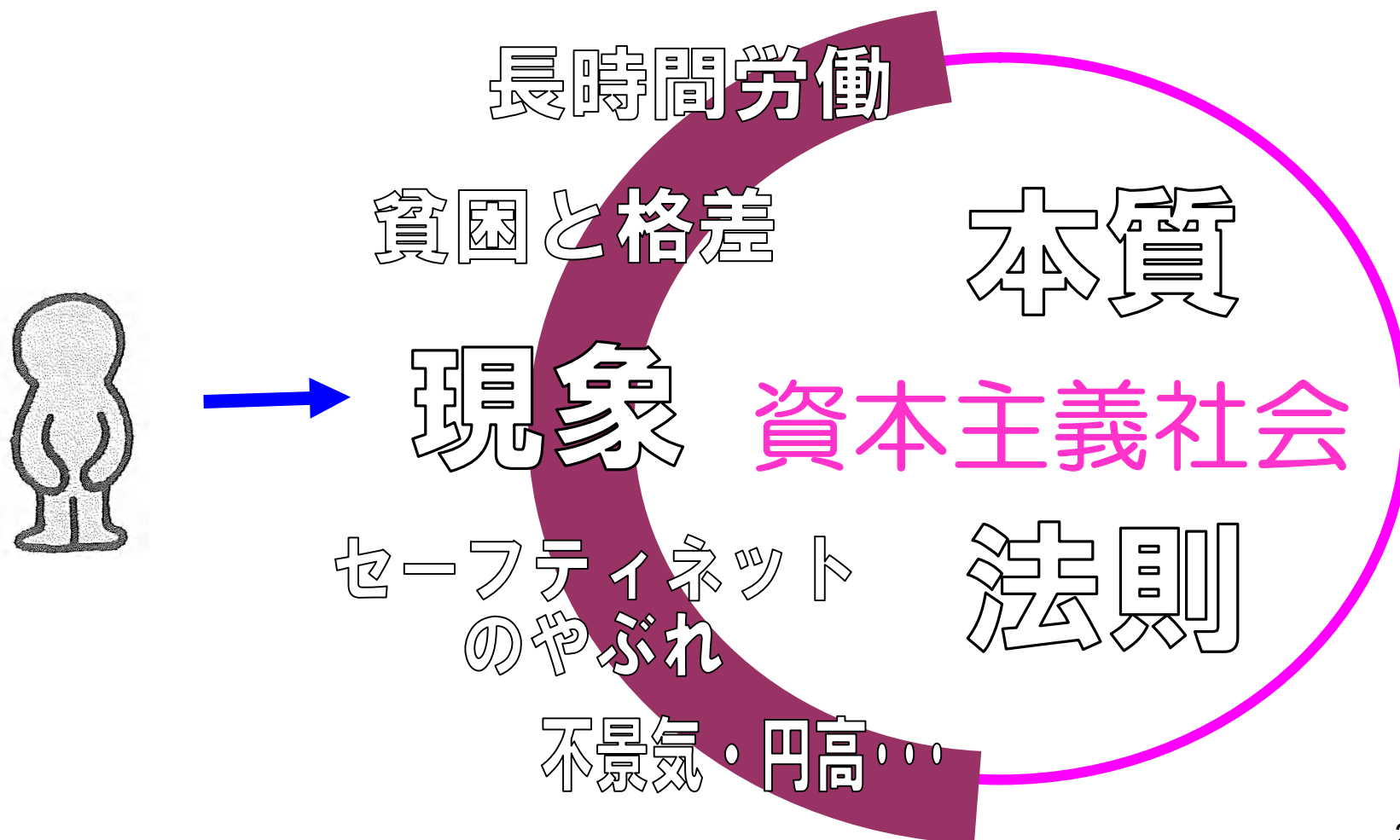
2010 2020 2030 2040 2050 2060 2070 2080

あと70年…



長久死ぬ。  
（予定）

社会の土台は経済。私たちが生きているのは21世紀の  
高度に発達した資本主義社会の日本。



「ありのままの諸事実を知っていることが必要であるといっても、たとえば、仕事がきつい、賃金が低い、物価が高いといった労働者の苦しみなどを、ただ“なま”のままではならべたててみても、それ自体では、そういうありのままの諸事実（現象）の正体（本質）、いいかえればそれらがひきおこされる根源（ほんとうの原因）があきらかにならない、したがって、それを変えたり、なくしたりしていく道がみいだせない、ということです」（金子ハルオ『経済学（上）』、新日本新書、1968年）

学べばみえてくるー！



## 資本主義とは何か？



いま、日本の資本主義は、世界のなかでどんな位置にあるのか。



## (3) 「活動」におけるサイエンス&アート

### ① 「活動」におけるサイエンス

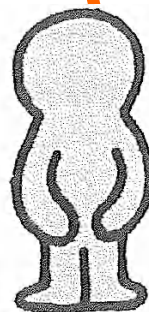
そもそも、「活動」とは？

いまある「現実」を変える営み。

「これでいいの？」

「おかしいんじゃないの？」

「なんとかしようよ」



現実

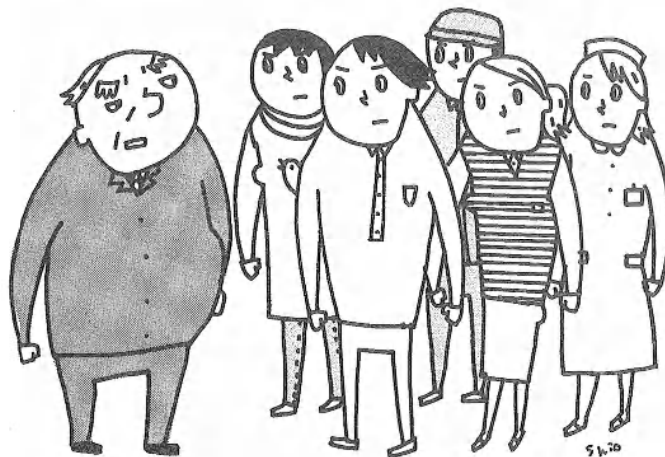
● 思いを言語化し、仲間の声を聴き、問いかけ、行動する人を「活動家」という。みんなで「プチ活動家」に！ ●

「活動」に困難はつきもの。

現実

これでいいのだ。

おかしいぞ！



「いまある現実」をめぐってのぶつかりあい。

だから、事実と根拠にもとづいた「科学的な方針」  
「調査・分析・判断」が必要。

「この現実」を形  
づくっている要素、  
条件、原因は…。

情勢の特徴…

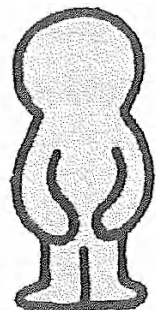
現実

どうしたら、より  
マシな現実を引き  
寄せられるのか…。

科学的な政策・方針

私たちは、サイエンティストであることが必要。

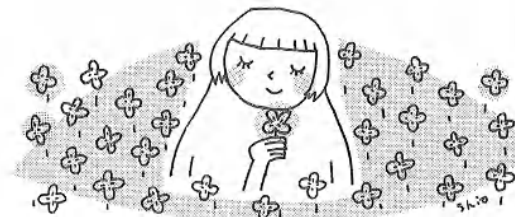
民医連運動の果た  
している役割は…。



労働組合は何をす  
るべきか、どんな  
役割があるか…。

自分(たち)は何をすれば…

## ② 「活動」におけるアート



ひと言でいえば・・・共感の幅をひろげる、

**「心のふるえ」を生み出す力。**

たとえば・・・「伝える力」

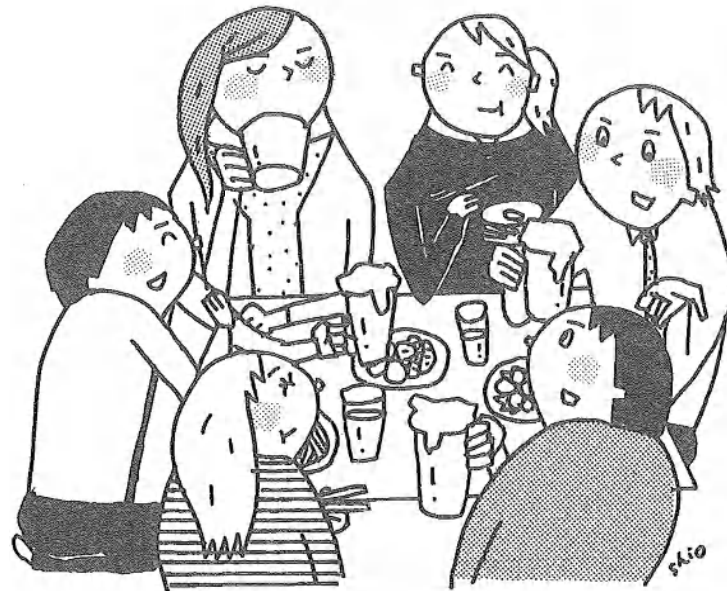
**アーティストに。**

言葉の力。相手に伝わる言葉かどうか。

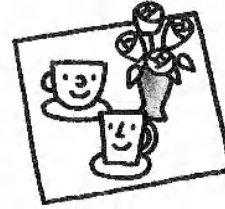
チラシやニュースづくり。ホームページ・ブログ。

たとえば・・・ヒューマニズム（あたたかさ）

■ 仲間の存在。「聴く・聴かれる」関係性。高まりあい。  
居やすい、という場の役割。事務所力。会議力。  
相手の立場にたてる想像力。



たとえば・・・文化の力。



民医連運動も、労働組合運動も、人間集団の集まりである以上、広い意味での文化が発生する。

いつの時代でも、新しい文化をつくりだす中心は、若い世代。

センパイの「たたかいの歴史」を受けつぎつつ、新しい活動のあり方、スタイル、外見をつくりだそう。「たたかいの新しい文化」を生み出しながら、「心がふるえる」体験をたくさんしよう！

正しくて、楽しい。正しくて、あたたかい。  
正しくて魅力的な「活動」を、テーマにかけてつくりだそう！

さいごに…

学習活動は、コツコツ、長〜く。積み重ね。

学びたくなる**活動**、活動を創造的にする**学び**を両輪に。



おつかれさまでした☆

ぜひさらなる学びを！